

成果報告書

地域文化倶楽部(仮称)創設支援事業

団体名	おそきウインドアンサンブル青樹		
所在地	東京都青梅市	設立年	2016年
運営主体	おそきウインドアンサンブル青樹		
事業目標	<p>指導・連携の中心人物が市外で勤務する中でも、従来のような活動を継続できる体制を整えること。</p> <p>※2021年度までは、原則週一回・通年の活動(年間40回程度)を行い、夏の吹奏楽コンクール(一般の部(いわゆる大人部門)に中学生たちも大人と一緒に参加)出場や地域の各種イベント・コンサート出演を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団そのものの新規指導者確保と、団内から市内各吹奏楽部の指導に関わる人材の増強 ・大編成吹奏楽による魅力発進と、それに伴う市内吹奏楽部員数・本活動に参加する中学生吹奏楽部員数の増加 ・従来保護者・団が負担してきた費用の軽減 <p>—学校や地域との連携によって得られる成果—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各中学生の活動レベルの向上(個人技術の向上・個々の部活単位で小編成化が進む中、大人数で合奏できる経験) ・地域文化水準の向上(地域のイベントでは、都内・全国屈指の演奏を小曾木で聞かせてくれる団体として好評) ・子どもの豊かな生育環境づくり(活動を通じ教員や団員・保護者・地域関係者らが子どもの様子について常に共有) ・教員の指導負担軽減(活動を通じ得た練習習慣・技術等について平日の部活動にも還元) 		
きっかけ	<p>当団体は2016年に青梅市立第六中学校吹奏楽部の卒業生を中心に「ウインドアンサンブル青樹」として創団したアマチュア吹奏楽団である。2018年より、当時第六中学校吹奏楽部がコンクール上位大会に三年連続出場を果たし、規定として翌年の中学校吹奏楽コンクールに参加できず、また部員数の減少で演奏できる曲が少なくなってしまうなどの理由から、中学生希望者と地域の大人と一緒に演奏をするという活動を始めた。その際、地域の名前である小曾木(おそき)の名前を冠し、「おそきウインドアンサンブル青樹」と団体名を改称している。</p>		
団体・組織等の連携	<p style="color: red;">赤字の箇所が本事業において拡充する取組である。</p>		
活動場所	青梅市立第六中学校・青梅市立吹上中学校 その他施設		

活動概要	一般吹奏楽団への中学生の参加 基本週一回 土曜日 17:00-22:00 練習内容 個人練習・パート練習・セクション練習・合奏など
------	--

○本事業による成果

学校によっては、顧問は全く立ち会いをすることなく青樹の活動(合同部活動も含む)を行うことができた。(ただし、そこには他校顧問が連絡をとるなど新たな負担が増えていることも事実である。)

今年度の活動を通して、青樹として中学生を受け入れながらの活動は7年目になるが外部に向けてこの活動が世に知らされる良いきっかけになった。

○児童・生徒への指導に関する工夫

音楽大学で専門教育を学んでいる地元の学生に指導を受けることで、技術だけでなく進路の相談に乗ることもできている。

部活動ではなく、学校の枠を超えた枠組みの中で一生懸命に音楽と向き合うことで中学校だけで音楽を終えるのではなく生涯に渡って音楽を楽しむことができている。

○運営上の工夫

- ・楽器の保管場所として空き教室を利用させてもらっている。個人情報が多く存在する一般教室は使用せず、視聴覚室、図書室、コンピューター室、音楽室という校舎内の一番端に位置している縦の動線の教室のみ使用している。また、職員玄関を使用すると職員室の前を通ることになるので、体育館横の入り口のみ使用している。普段、学校を使用させてもらっているお礼に年末に大掃除を行い中学生ではできないような箇所を掃除している。

- ・学校の施設に関しては、団員の中に部活動指導員を配置することで顧問の立ち会いを無しに活動を行うことができている。

- ・顧問、部活動指導員、指導者、保護者の共通の連絡ツールを使用し連携をとっている。また、指導者が各校の校長と連絡を取り合いながら活動を行なっている。

○継続的な運営に関する課題・展望

【課題①】人材面：今年度と同じように活動しようとする、私費でかなりの金額を集めなくてはならなくなってしまうことが確実となる。

【課題②】連携面：現段階では、学校長、顧問、部活動指導員、団員とうまく連携ができているが、校長も顧問も永続的なものではないからこそ、教育委員会など行政が間に入って関わっていかないと、それは偶発の産物にしかならないのではないかと危惧している。

【課題③】施設面：課題②と同様である。現在は空き教室に楽器庫を作り使用させていただいているが、学校そのものが統廃合するのではないかと、未来への課題は多い。また、光熱費が年々上がっていく中で、団として「このまま教室(冷暖房)を使用しているのいいのかな？」と疑問に思う瞬間があり、なにか決めも必要に感じる。

【課題④】備品面：継続した活動を行うためには、備品面での支援が必要不可欠と考える。とくに、学校備品の楽器は古く、中学生が使用していて故障してしまったときに、それは経年劣化によるものなのか、それとも使用者の不注意なのか、またその修理費用は、学校楽器だから公費なのか、地域のバンドでの使用だから私費なのか、判断に困るケースが多々みられた。

上記全ての課題において、教育委員会(指導室)との連携が十分で無く、今後自立して運営を行うためには更なる連携、協力が必要不可欠と考える。

○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・提案

7年間活動行ってこれたのは、学校長が変わってもこの音楽活動に理解をいただけたからである。また、地域には「おそきの学校と地域を考える会」という組織があり、演奏会の後援や宣伝広報をしていただけている。このように団ではなく、周り(地域や自治体)のバックアップや支援がないと、この地域移行はなかなか難しいのではないかと、思う。

持続可能な活動を行うためには、地理的に集まりやすい場所で活動が行えることが必要不可欠である。

○令和4年度 取組状況等

参加者	人数等	中学生8名 大人40名ほど
	学校名	青梅市立第二中学校 青梅市立第六中学校 青梅市立吹上中学校
	募集方法	吹奏楽部の生徒へのアプローチ
指導者	人数等	4名
	募集方法	今年度新たな募集はなし
参加者の移動手段		保護者の送迎
活動費用	指導者謝金等	合奏指導者謝礼 交通費 実費
	その他	楽器運搬代金 楽器調整費用 消耗品費用 楽譜購入費用 楽譜コピー費用 練習会場費用 その他
活動財源	会費	団費 中学生500円/月 大人3000(4000)円/月
	その他	
スケジュール	基本活動	・毎週土曜日(最終週を除く):17:00-22:00 本番約1月前から日曜日練習あり ・中学生のみの活動は本番週は平日もあり
	年間	5月 第4回演奏会 7月 西多摩吹奏楽フェスティバル出演 8月 東京都職場・一般吹奏楽コンクール出場 9月 東京都吹奏楽コンクール出場・管楽合奏コンテスト予選(中学生のみ) 10月 11月 管楽合奏コンテスト全国大会(中学生のみ) 小曾木地区文化祭(大人のみ) 青梅宿アートフェスティバル 東京都職場・一般吹奏楽連盟アンサンブルコンテスト あそびばARTフェスティバル 12月 青梅市文化芸術奨励賞記念演奏会(出演:中学生・大人:運営手伝い) 2月 東京都アンサンブルコンテスト 職場・一般の部 3月 おそきの音楽会-Spring-
保険加入等		なし

【活動の様子（写真添付）】

